

令和8年2月 定例教育委員会

日 時 令和8年2月25日（水）15時00分～

場 所 市役所11階 会議室1

出席者

（教育委員）

陣内教育長 松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員 西沢委員

（事務局）

井上教育総務部長 鳩山学校教育部長 木下学校教育部次長兼学校教育課長 稲葉学校教育部次長 藤川学校教育部次長兼学校保健課長 溝口総務課長 武尾文化財課長 高橋スマート・スクール・SASEBO推進室副室長 眞弓学校教育課主幹 黒田学校教育課主幹 徳永総務課長補佐兼庶務係長 松本スマート・スクール・SASEBO推進室係長 溝上文化財課主査

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

(1) 教育長報告

(2) 令和7年12月分 議事録確認

(3) 議 題

- ① 佐世保市教育委員会公印規則の一部改正の件（総務課、学校教育課）
- ② 佐世保市立小・中学校及び義務教育学校処務規則の一部改正の件（学校教育課）
- ③ 佐世保市学校運営協議会規則の一部改正の件（学校教育課）
- ④ 佐世保市文化財保存活用地域計画（案）の策定の件（文化財課）
- ⑤ 佐世保市第4次教育の情報化推進計画策定の件（スマート・スクール・SASEBO推進室）

(4) 協議事項

なし

(5) 報告事項

なし

(6) その他

- ① 次回開催予定について

◆教育長報告

- 1月28日 ふれあい給食（中里小学校）
- 1月29日、30日 九州都市教育長会議理事会、長崎県都市教育長会議
- 2月13日 佐世保市立針尾小学校150周年記念式典、記念祝賀会
- 2月15日 佐世保市子ども会大会
- 2月20日 学校教育審議会

（1）教育長報告・議事録確認

【陣内教育長】

改めまして皆さんこんにちは。

それでは2月の定例教育委員会を開催させていただきたいと思います。

まず私の方から報告をさせていただきます。1月22日に開催された定例教育委員会のあとの動きでございます。

各教育委員の皆様には28日のふれあい給食に中里小学校に足をお運びいただきましてありがとうございました。それから2月9日には臨時の教育委員会を開催させていただきいくつかの案件につきまして議決をいただきました。

その他に私の動きとしましては、1月29日と30日に九州都市教育長会の理事会に参加してきました。2月15日に子ども会の市子連の大会がございましたのでそちらに参加してきました。また13日には針尾小学校の150周年の記念式典、それから祝賀会も開催され、ジャパネットの高田明会長さんが講演をしてくださいます、地元の方も大変喜ばれていました。

またこの1か月に公式な審議会として、通学区域審議会の方に通学区域の変更設定について、西地区それから鹿町地区について諮問いたしまして、答申をいただいているところでございます。これは後日、新しい学校推進室から報告があるかと思えます。

それからもう1つは、学校教育審議会の方に、今後の部活動のあり方についての諮問をいたしました。これからおそらく5、6回かけて審議されてそのあと答申をいただくかたちになるかと思えます。

続いて議事録の確認にまいりたいと思いますが、議事録の方はよろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。

それでは議題に入りたいと思います。「佐世保市教育委員会公印規則の一部改正の件」についてお願いいたします。

(2) 佐世保市教育委員会公印規則の一部改正の件

【溝口総務課長】

議題資料P1～P5により説明

【木下学校教育課長】

議題資料P1～P5により説明

【陣内教育長】

はい、ありがとうございました。

以上2点ですね、副本の廃止と、それから条例で名称は変わっていたのですが印鑑が変わっていなかったということです。よろしかったでしょうか。

【教育委員】

はい。

【陣内教育長】

はい。異議なしということで決定としたいと思います。

(3) 佐世保市立小・中学校及び義務教育学校処務規則の一部改正の件

【木下学校教育課長】

議題資料P6～P8により説明

【陣内教育長】

校務DXの一環で、電子機能を活用した形で改正したいということでございます。よろしいでしょうか。

【教育委員】

はい。

【陣内教育長】

はい。それでは了としたいと思います。

(4) 佐世保市学校運営協議会規則の一部改正の件

【木下学校教育課長】

議題資料P9～P11により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。

令和8年度に導入をしたいという学校の希望校がこれだけ出てきたということで、ご承認いただきたいという内容です。

【中村委員】

令和8年度で半分以上になるということでしょうか。

【陣内教育長】

令和8年度で44.2%となっています。令和9年度来年の希望まで聞いてあるみたいですが、令和9年度が61%ということです。

【松野職務代理】

学校運営協議会はいわゆる地区学校運営協議会で、今現在、今度も含めて作ろうとしてるところはいくつあるのか確認させてください。

【木下学校教育課長】

11ページの参考資料をご覧くださいようお願いいたします。

令和8年度の導入予定としましては、鹿町地区と世知原地区、この鹿町小・歌浦小・鹿町中と、世知原小・世知原中の2地区が地区として、学校運営協議会の共通の設置をしようと考えているところです。

【松野職務代理】

もう以前のところは全部、運営協議会としてはそれぞれ学校単位ですよ。

【木下学校教育課長】

その表の上の方にございますとおり、平成29年度が小佐々地区、あと令和4年度が金比良と光海の西地区、令和4年の江迎小・猪調小・江迎中の江迎地区、このようなところが地区として複数の学校としてコミュニティスクール導入をしているところです。

【松野職務代理】

ありがとうございます。

【陣内教育長】

学校運営協議会コミュニティスクールで、いくつかの機能が期待されているのですが、マストとなっている機能が1つある、必ずこの機能を発揮してくださいこれを必ずしてくださいというのがあるんですけども、それが実は、それぞれの学校の学校運営方針、学校運営の承認なんです。

この学校はこんな運営、経営をしますということを承認する機能は必ず発揮してください、ですから本来は一つの学校ごとに運営協議会がないとおかしいのです。この学校の経営を承認しますというものです。ですからそもそもの学校教育法の改正のときに、最初、学校運営協議会規則の改正が行われたときには、1つの学校に1つしか設置してはなりませんとなっていました。それがその後に、学校の小中一貫型教育、連携型教育の重要性等を鑑みて、地区ごとに設置することも可能という拡大がなされた。それを佐世保市の場合は、作っている。だから小佐々地区も3校参考で1つのコミュニティスクール学校運営協議会になっているんですが、学校運営方針、経営方針の承認に関しては、1校ずつしなければならないとなっています。

【古賀委員】

木風小と潮見小はそれぞれあるが、再編後は1つになるのでしょうか。

【陣内教育長】

学校が統廃合になれば作り直して一つになる。今回出てきている鹿町小・歌浦小もこの名称は鹿町地区学校運営協議会となっていますけれども、これが、学校が新しくなったら、鹿町学園学校運営協議会という名称になるでしょう。金比良小と光海中も名称がここは名称が変わるだけでしょう。承認対象の学校の経営方針は1つです。

順調に増えてきていて、特に、今回は文科省のコミュニティスクールのマイスターを十分活用して、社会教育課がどんどん呼んで研修会を行っているところです。よろしかったでしょうか。

【教育委員】

はい。

（５）佐世保市文化財保存活用地域計画（案）の策定の件

【武尾文化財課長】

議題資料P12～P14及び別添資料により説明

【陣内教育長】

図表で見ていただいたように、今までの説明、それから前回協議いただいております、その中身について今回修正点を主にお伝えさせていただきました。

その他の点でも結構ですが、これ多分最後の意見伝達の範囲になりますので、他にありましたら、ぜひお聞かせください。

【古賀委員】

いくつか洞窟が佐世保市にあって、その名称はここにも全部載っているのでしょうか。

【武尾文化財課長】

こちらの関連の文化財群、91ページをご覧ください。

最初の関連文化財群の「I」といたしまして、佐世保洞窟遺跡群ということで、洞窟だけではなく岩陰でありますとかそういったものも含めて記載をさせていただいているところがございます。

【陣内教育長】

いまの古賀委員さんのご意見は大事なことであったように思います。確かに「36ってどれ？」って言われたときに、ここに50のうちの36がどれなのかわかりにくいですね。

【古賀委員】

天神洞窟のプラ看板がつけられているのを見て、ここについてるんだなあと思いながら通ったのですが、この1からの順番はこの前もおっしゃった南からか北からのある場所の順番でしょうか、古い順なのでしょうか。

【溝上文化財課主査】

この順番についてなんですけれど、特に決められた順番ではなくて、2のちょっと順番で今回ちょっと入れさせていただいているというような状況ではありました。

【陣内教育長】

それは、わかりやすい順にしたほうがよいのではないかと、地域順にするか、例えば国指定県指定市指定未指定とするか。どれが36なのか構成の面も含めて考えてみてください。

【武尾文化財課長】

36についてはこの表の中に何か印を付けるような形で、アスタリスクをつけて説明を少し入れるようにしたいと思います。あと並びについてはこれまた少しく、北からがいいのか南からいいのか文化財課で検討させていただいて、見やすいように、わかりやすいような並びにしていきたいと思いますので、そこは修正をさせていただきたいと思います。

【陣内教育長】

目玉コンセプトがフィールドミュージアムというものを持っているので、よりフィールドミュージアムの機能をいざなうためにもそんな示し方がいいのかもしれないね。ぜひお願いします。

【西沢委員】

今回概要版を作っただけということ、中学生でもわかりやすいということですが、これ小学生までおろせないでしょうかというご要望になります。というのも、遅いというか、小学生からこれをわかっての方が、佐世保市のことをよく子供たちに理解して郷土愛を深めてもらうためにも、小学生から概要版を作らなくともこの内容をどこかで触れさせるとかした方がすごく、せつかく素晴らしいものがあるので、もっともっと、絶対理解できると思うので、小学生も、あったほうがいいなあと思ったのでちょっとご提案というか、お願いというか、やっていただけたら嬉しいなと思います。

【武尾文化財課長】

ありがとうございます。

今いただいた意見、どのように作っていくかというのはちょっとこれからのことですので、いただいた意見を参考にさせていただきながら、また学校教育課の方とも少し、お話をさせていただきながら、もし授業で事業取り組んでいただけたらかそういった話がいただけるようであれば、そちらのほうでも取り組んでいきたいと思えます。

【陣内教育長】

ぜひ検討してみてください。

（６）佐世保市第４次教育の情報化推進計画策定の件

【鳩山スマート・スクール・SASEBO推進室長】

議題資料P15～P39及び別添資料により説明

【陣内教育長】

この目次のところで確認ですが、1番「概要」、2番「環境」、3番「第3次計画」、今回「第4次計画」が第4章、4番に入ってきました。ここには目指すところを書いてある、「このような子ども像を目指します、このような教師を目指します、このような学びの姿を目指します」という4番が「目標」。そして5番がその実現のための方策ですよね。この4番を実装するための手段と書いてほしいという話をしていたと思いますが、例えば、35ページに学びの目標が書いてあって、個別最適な学びであったり、協働的な学びであつ

たり、主体的対話的で深い学びであったり、こういうことを目標にしますよと書いてあるが、これを実現するための実装するための手だてが第5章のどこに書いてあるのでしょうか。48ページから読んでいって、この個別最適な学びであったり協働的な学びであったり主体的で対話的で深い学びだったりを目指すため、そこに迫るために実現するための、手だてとして、どこに入っているのか。ずっと私は実装という言葉を使っていますが、この目標が実装できるような手だてという言い方、どこに載っているのでしょうか。

項建てとしては今のままでよくて、4番に目標の書いてあって5番がその目標達成のための手だてですよ。4番で書いてあることの達成のための手だてが5番にあるのか。学びの質って言うと、学びの質を変えるための手だても、5番にありますか。

機器を変えますよ、未来シードも入れますよとか、生成AIを注意しますよとか、学びの質を変えるための手だての第5章、5段落にありますか。

どのようにして4番を達成するのか、そこがうまく見えていないような気がします。

【松本係長】

今、教育長がおっしゃられたとおりに手段しか入っていません。AIドリルであるとか、そういった手段しか入ってなくて、その繋がるため道筋という部分は確かに記載がない。端末を導入するであるとか。AIドリルを入れるであるとかという、手だてといえる記載は確かに無いかもしれない。具体的に、個別最適な学びをというところでAIドリルの機能を使ってとか、そのあたりの記載しかない。

【鳩山スマート・スクール・SASEBO推進室長】

具体的に学校がこうすべしってところを明確に示している段階にはないのですが、第三次教育の推進計画の中で、紹介できるだけの確かな実践例をお示しすることはできたというふうにも感じております。

学校に明確にこうしなければならんっていう示し方は今回していないんですけども。有効に活用されている他校の実践をぜひ参考にして質を高めて欲しいというメッセージという形で送れたらなっていうふうに思っています。

主体的対話的で深い学びの実装は、学校が率先してやるべきことであると思っております。当然私どももそこに指導をしたいところではあるんですけども、各学校が一律にこうしなければならんっていうことを今回お示しはしてありませんが、今回、第4次を迎えるにあたりまして、第3次のこの期間を振り返ったときに、様々な学校でこの端末を有効に活用した実践例を得ることができましたので、それをこの計画の中で紹介することによって、各学校がうまく参考にしていただきながら、質を高めてもらえるように、学校に対して今後働きかけをしていきたいというふうには考えております。

実質のところ、こうしなければならんというのは、具体的な示し方は少々不足していたかなというふうに思っております。

以上でございます。

【中村委員】

ご説明ありがとうございました。

一応議題の方にあった、佐世保市第4次教育の情報化推進計画スマート・スクール・SASEBO構想ネクストという、この資料とこの見え消し版の推進計画、この2つの関係性はこれどこで使ってこれはどこで使うのか、対象はきっと先生がこれを見て勉強されるのかなと思うんですけど、誰が読んで、どういうふうな感じでこれを勉強される機会があるのかとか、その辺を教えていただけますでしょうか。

【鳩山スマート・スクール・SASEBO推進室長】

まず本日お示しさせていただきましたそのカラー版の資料なんですけれども、これは前回の定例教育委員会におきまして私どもが協議事項としてご提案をさせていただいたときに、十分にこの位置付けでこの計画の位置付けですとか、国の方針ですとか、そういったところの説明が、十分教育委員の皆様方にも伝えることができていなかったのではないかと反省に立ちまして、あくまでもこのカラーの写真で、資料につきましては、本日、定例教育委員会におきまして教育委員の皆様方にご理解いただくために作成したもののというふうにとらえていただければと思います。

冊子の方につきましては、まず概要版を使用しまして、校長会教頭会におきまして、お知らせし、指導していきたいと思っております。

その後、この冊子につきましても各学校の方へ送付いたしまして、学校において読んでいただく、活用していただくということを考えております。

【陣内教育長】

気になっているのが、格差が広がることないだろうかという点です。している学校をみて、こちらからこのようにしようとは言わないが、学校が、第三次で頑張ったところと見てまねしてもらえればいいということで、今でも先進的な学校とそうでない学校の差がどんどん広がっているし、学校の中でも先生の格差が広がっているような気がする、

そこを実装したいと思えます。格差を減らしたい、みんなができるようになってほしい、実装してほしい、このような理念を理念で終わらせてほしくない、それで言うと、なんかこのづくりでは差が大きくなりそうな気がしたところです。

【中村委員】

続きの質問と意見とがありまして、これが、校長会とか教頭会で、これみんなで勉強されると、それが学校において今度は1人ひとりの先生も読まれるとしたときに、今私たちは、学校見せ見させてもらったりして学んだことが網羅されているとは思うんですけど、実際見ていて、すごいなっていう授業は誰が見ても感動するような、子供たちはワクワクしているし、ツールは使いこなしているし、グループになったり分けれたり、すごい状態ができているなと思えます。それと同時に、あの素晴らしい状態というのを、この文字から読み取るのはなかなか難しいなと思ったんですけど、私たちも見せてもらって、あれを、

実際に見ているからわかるのだとしたら、例えば授業風景を動画に撮ってあって、子供たちが生き生きと質問し合ったり、ツールを使ったりしているところを見ることができれば、こういうものなのかというのわかるのかなと思ったり。

その状態を作っているのは先生なんですけど、その姿になってるのはクラスの子供たちで、子供たちがそんな興味を持って動いてるところとかいうのを、動画とかで見せていただくようなものができて、その資料があって、何か先生もぴんところれたら、この授業はどうしているのかなということで今回の資料とかも読む気になられるのかなという感じがしました。実際に先生たちが現場に行くと皆が見られると一番よいのでしょうか、そのような時間はとれないと思うので、だとすれば、これはモデル事業になるなというところを先生方が選ばれて、何種類かそういう状態を動画とかで取って、教材というのを用意されたら、センターとかで活用されたり、先生がいろんな手段でそれに触れられる機会があれば、この文字にまとめたものも生きてくるのかなというふうに感じました。

いかがでしょうか、

【高橋スマート・スクール・SASEBO推進室副室長】

おっしゃられますように、確かに旧態依然というところがございます。

ご案内いただきましたような内容につきましては、現在もその動画につきましては研修等で用意をしているところがございます、次年度さらにそれを充実させるとともに、さらに格差を解消する手だてとして、こちらからの出前研修、利用率が少なそうな学校に対しましてはアプローチをかけて、こちらからキャラバン隊という研修をするというようなイメージで今準備を進めているところでございます。

【陣内教育長】

ここには書いていないが、構想は持っているということでよろしいでしょうか。

なので、これは情報に特化した計画になっていますが、もう一つ学力向上のための計画を今作っていて、そちらにでもいいので書き込んでいかなければならないのかもしれない。ハード整備、環境的なものがネクストスマスクのなかで、環境整備的なものを謳って行って、それを使って授業改善とかをどうやっていくかというのは学力向上の全体計画の中に位置付けて謳っていくと。そのキャラバン隊の方もそちらに入ってくるという位置付けで整理することでいいでしょうか。

実装のための手だては、学力の方の計画の中に入ってくる、ここは環境整備の情報環境の整備について書いてあるということですね。

【西沢委員】

確認させていただきたいのですが、これは、校長会でお配りして各学校の校長先生がご覧になるってことですね。それから校長先生が反芻した上で、じゃあうちの学校にはどういうふうに落としていこうかというのが次のステップということでよろしいでしょうか。

【鳩山スマート・スクール・SASEBO推進室長】

基本的に校長会、校長兼教頭研修会を通じて指導をしてまいりますけれども、すべての職員が目にして読むことができる環境は整えていきたいというふうに思っております。

【陣内教育長】

今の西沢委員さんの質問と関連して、この第三次計画のときは、最初、結構研修を充てました。校長先生たちの研修、職員用の研修、あれをもう一度しなくてよいでしょうか。グーグルからも来てもらったりして、そういうのあったからこの成果が出たような気がしますね。

【高橋スマート・スクール・SASEBO推進室副室長】

先ほど、校長会との研修でございますが、情報教育の担当者が各学校の中核となる教員がおりますので、すべての小中学校から招聘してこういったところをおさえる、そして各学校の好事例等を一覧にするというようなことを企画しており、その他オンデマンド等の研修動画を作成しまして、広く周知するような手だてに努めてまいります予定でございます。

【西沢委員】

ということは、この書き込まれた内容というのは、各校長先生だったり諸先生方もしっかり理解をして、落とし込める段階をもう作っていらっしゃるということですよ。おそらく、要点とか例えば第3次から何が変わったとかが、先生方の中でクリアになれば、じゃあ次に自分たちは、例えば私が教師ならば、第3次で自分はここまでのステップはクリアしたから、次はこの段階に行けるなみたいなこと、振り返りとその次のステップみたいなものが組めるかなと思ったので、その研修の中に4次ではこういうことを先生方には頑張っていたら、ゆくゆくはもっといいことになっていくんですよ、というような点も組み込んでいただけると、よりこの計画が生きるのかなと思うので、ご検討いただけたら嬉しいなと思います。

【高橋スマート・スクール・SASEBO推進室副室長】

ただいまご示唆いただきました。そのステップといいますか、切り替えるとステップというような視点で、第3次から第4次への移行、非常にいい機会といいますか、委員会になるかと思っておりますので、それぞれの先生方が振り返りをして次を迎えるような研、そういうアイデアで向かってまいりたいと思います。

【松野教育長職務代理】

情報化社会が急激に広がって行って、いろんな面で全国圏での広がりもあるし中身の伸び具合もあるので、一緒に走っていく中ではどうしても、先頭を走っている方々とそうでない方との差が出てくるのはしょうがないし、実際に差が出てくる。その小集団グループにしていかに先頭に近づけるかという部分での、小さなリーダーたちの育成、小集団のり

ーダーを育てながら少しずつ進むしかないのかなと感じます。やっぱり私自身も実際この急激な変化についていけるのかなと非常に思うこともあるのですが、やっぱり実際に見てみて、やってみて、これはいいなと思ったら、先生方は必ず採用すると思うんですね。そういった機会を作っていくながらどんどん小集団の中からずっとみんなを引っ張っていくという形をとることができればいいのかなと思っております。

やはりこのいろんなこの計画を見ていく中で、第3次から第4次にかけて、ぐんとステップアップするような中身になっておりますので、それを踏まえて今後とも推進していただければなあと思っております。

【古賀委員】

お願いというか希望を言わせていただきます。

たぶん、子供たちは発表の場があるとそれに向かって伸びていくのかなあと思うので、学校間の交流とかまだそこがアナログというか、今後はPRというかそういうところをデジタルを活用してまとめるとかして、興味があるものを伸ばして行ってほしいです。

あとは企業さんとか地域の人との連携です。子供たちにながったり入ってもらって、例えば中学生が小学生に学びを伝えるとか、例えば音楽発表会は発表を見合ったりできるので、オンラインで見せ合うとか、そのような発表の場がたくさん増えると、何か繋がっているのかなあと思ったので、そこにも期待をしたいなと思っております。

【陣内教育長】

今日お話いただいたところ含めて最終的な話ですけど、マスタープランとしてとてもよくできているので、これについてはもうこのまま進めて行っていただきたい、この点はご承認いただくということでよろしいでしょうか

【教育委員】

はい。

【陣内教育長】

マスタープランとしてはもうこれでしっかりできていて、これまで第3次するときも素晴らしい成果を出していただいておりますので、この方向で進めてください。

ただし、個別の計画であったり、学力と特化した個別の計画であったり、マスタープランではなくてアクションプランであったりという部分、それから今アイデアベースでのいろんな取り組みも皆さんやっているの、そういったところも含めてこれはこれでOKなので、この他の部分でまた色々肉つけたり骨をつけたりしてあげてください。

できない先生がいるからできない、できる先生はいてもみんなができない指導をしたらいけない、というのではない。できる人だけでもいいのでまずやる、全員ができるようになって一歩進むというのでは進まない、できる人から順番にやっていく、できる人ができない人に後で教えればよいという話です。

みんなファーストペンギンになろうという思いで走って、その成果として今の佐世保市が全国、都道府県レベルでいけば、ベスト3とかベスト5に入るぐらいのすごい成果になっています。でも、それが、第一歩を踏み出すことができない人たちを置いていってはいけない。そこに遠慮してみんなが進まないのではなく、進む人は進むけれども、進めない人もできるだけ考えていかなければならない、頑張りましょう。
ありがとうございました。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -